



東北 みどり戦略だより

東北農政局 第9号 令和8年4月発行

東北管内における「みどりの食料システム戦略※」の着実な進展に向け、関係の皆様々にタイムリーな情報をお知らせできるよう、「東北みどり戦略だより」を発行しています。

※「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、農林水産省で策定したものです。

「みどりの食料システム戦略」
の詳細はこちら→



<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/>



Jクレジット制度について

💡 Jクレジットの方法論に、新たに“牛のげっぴ由来のメタンガスを減らす飼料添加物の使用”が追加

令和7年12月に開催された第41回Jクレジット制度運営委員会において、「牛への飼料添加物を使用した飼料の給餌」の方法論が承認され、所定の手続きを経て、新たにJクレジット制度の対象となり、農業分野でのJクレジットの方法論が7つに拡大しました。

💡 牛への飼料添加物を使用した飼料の給餌について

温室効果ガス削減の効果が認められた飼料添加物を添加した飼料を牛に給餌することで、牛の消化管内でメタンガスを発生させる菌の働きを抑制し、牛のげっぴ由来のメタンガス排出量を削減する仕組みです。

• 牛への飼料添加物を使用した飼料の給餌 (令和8年2月追加)

牛に第一胃（ルーメン）内のメタン生成菌の働きを抑制する飼料添加物※を使用した飼料を給餌することで、CH₄の排出量を抑制
(※)「カシューナッツ殻液」、「3-ニトロオキシプロパノール(3-NOP)」が対象



Jクレジット制度とは？

温室効果ガスの排出削減・吸収量を「クレジット」として国が認証し、取引を可能とするものです。農林漁業者等による排出削減・吸収の取組により生じるクレジットから販売収入を得ることができるため、農林水産分野での活用が期待されます。

Jクレジットを取り巻く状況

令和7年5月に改正GX推進法が成立し、令和8年度からCO₂の直接排出量が一定規模（10万トン）以上の事業者を対象に排出量取引制度（GX-ETS）への参加が義務化されました。

制度の対象事業者数は300～400社程度、カバー率は日本における温室効果ガス排出量の60%近くとなる見込みです。

排出枠取引の円滑化と適正な価格形成のため、GX推進機構が排出枠取引市場を運営しており、GX-ETSでのクレジット活用が広がる可能性があります。

GX-ETS（排出量取引制度のイメージ）



有機農産物等生産者と食品事業者との商談会（秋田県、宮城県）



有機農産物等の販路拡大に向けて、有機農産物等生産者と食品事業者とのマッチングを目的とした商談会を開催しました。

令和7年12月18日に秋田県内で行った商談会では、生産者4名、食品事業者3社、令和8年2月26日に宮城県内で行った商談会では、生産者5団体、食品小売業者等7社にご参加いただきました。参加者からは、「商談がまとまった（又は今後商談相手とのやり取りを検討）」等の声が寄せられ、商談会を機に多くの繋がりができたことが伺えました。



商談会の様子（左：秋田県 右：宮城県）

環境負荷低減の見える化「みえるらべる」について



「みえるらべる」の対象品目は？

令和8年3月末時点で、米や野菜、茶などの耕種作物24品目です。

東北管内の登録状況は？

令和8年3月末時点で、東北で217件の登録が行われ、165か所の販売店舗で販売されています。

「みえるらべる」において、新たに牛乳乳製品・牛肉を対象とする販売実証（第1弾）を開始！

今般の販売実証は、生乳・牛肉の生産現場における温室効果ガス低減の取組を評価し、実証用「みえるらべる」を商品等に表示し販売することで、運用上の課題や改善点を確認し、将来的な本格運用に向けた検証をおこなうものです。

詳細はこちら→

生乳
タカナシ
環境三ツ星牛乳
(タカナシ乳業(株))

北海道根釧地区の生産者が自給飼料の利用や放牧等の取組により生産した生乳を使用した牛乳です。

販売実証予定期間：3月25日～

販売実証予定店舗：首都圏を中心とした一部の小売店、コープはまなか、タカナシミルク WEB SHOP、TAKANASHI MIK RESTAURANT (期間限定) (北海道、関東地方)

牛肉
サステナブル牛熟
((株) 熟豊ファーム)

島根県の熟豊ファームで、地元産の飼料や食品副産物を活用し、環境に配慮して生産された国産黒毛和牛(経産牛)です。

販売実証予定期間：3月10日～

販売実証予定店舗：銀閣寺大西本店、高槻阪急店、川西阪急店、草津店など計18店舗 (京都府、大阪府、兵庫県、滋賀県)



←「みえるらべる」における、牛乳乳製品・牛肉を対象とする実証販売の詳細はこちら

環境負荷低減の見える化



みえるらべる

温室効果ガス削減や生物多様性の保全の取組を分かりやすく等級ラベルで表示します。



J-クレジット制度

CO2等の排出削減量などをクレジットとして国が認証する制度。クレジットの売買が可能です。



みどりチェック (クロスコンプライアンス)

農林水産省の補助金等の交付を受ける場合に、最低限の環境負荷低減の取組を実施していただきます。



第2回みどり戦略学生チャレンジ受賞チーム決定

第2回みどり戦略学生チャレンジでは、全国から387件の応募があり、各地方ブロック大会での審査を経て38チームが出場した全国大会では、高校の部で「岩手県立花巻農業高等学校」が「AgVenture Lab賞」、大学・専門学校の部で「秋田工業高等専門学校」が、「GREEN×EXPO 2027賞」を受賞しました。

東北ブロック大会では、高校の部で「福島県立岩瀬農業高等学校」が、大学・専門学校の部で「宮城大学」が「東北農政局長賞」を受賞しました。

参加いただいた学生の皆様、ありがとうございました！



岩手県立花巻農業高等学校 (AgVenture Lab賞)



福島県立岩瀬農業高等学校 (東北農政局長賞)



秋田工業高等専門学校 (GREEN×EXPO2027賞)



宮城大学 (東北農政局長賞)



みっちゃん4コマ漫画はお休みします



第3回みどり戦略学生チャレンジ情報

第3回みどり戦略学生チャレンジの参加登録受付を開始しました。参加登録は7/31までです。学生の皆様からのご参加をお待ちしています！

みどり戦略学生チャレンジ東北ブロック大会について



詳細はこちらから→



◆「東北みどり戦略だより」の問合せ先：東北農政局企画調整室総括チーム 022-263-1111 (内線4080、4259)

